シチュエーション）

体育大会前の練習、今日も暑い中、１時間みっちりと練習がありました。終了後、Ａはター坊が持ってきているペットボトルのお茶に目をつけていました。ター坊はいつもキンキンに冷えたお茶を持ってきているのでした。Ａは、ター坊に「お茶ちょうだい」と一声かけ、真っ先に教室へダッシュしていったのです。

Ａ、ダッシュで教室に戻ってくる。

机の上に置いてあるペットボトルのお茶のキャップをおもむろに開け

ゴクゴクと一気に半分まで飲み、机の上へ置きます。

Ａ；あー、うまい！　ター坊、ありがとう！

　　　と言って、その場を去る

つづいて、ター坊が走って教室へ戻ってきます。

**ター坊１号の場合**

ター坊１号

「えーっ！　Ａの野郎、何してくれてるんだ！　半分も飲んでる！　練習の後のお茶飲むのを楽しみに練習頑張ってるのに・・・、覚えとけ、この野郎！　どこ行ったＡ！」と言って、Ａを追いかける。

**ター坊２号の場合**

ター坊２号

「あーーーー！　よかった！　半分も残ってる。Ａのことやから、もうほとんど飲んでしまってると思ったのに。ラッキー！」とニコニコしながら、ペットボトルを持って去っていく。